

1 部活動・緑風会活動の基本理念

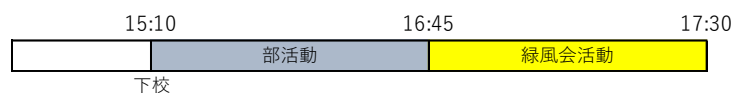
- (1) 部活動は、学習指導要領の趣旨に則り、生徒の自主的・自発的な活動を保証し、活動を通して生徒の連帯感・責任感の涵養を図り、学習意欲の向上につながる活動となるように行う。
- (2) 生徒の自主性が生かされるよう、活動計画（活動時間、休養日）については、生徒の意向を踏まえて作成する。また、学校と育成会は、生徒が自分の目標・目的に対して満足感が得られるよう、共通理解を図りながら共に活動を支えるものとする。
- (3) 緑風会活動は保護者を主体とした部活動を補完する活動であるため、活動の趣旨は(1)の部活動に準ずる。
- (4) 活動の量や質は、国および県が定めたガイドラインに則り、大会等の成績にこだわることなく、生徒にとって過度の負担にならないよう配慮する。また、学習との両立を図れるよう工夫し、生徒の意欲や「好き」「楽しい」などの充足感が持続できるよう努める。

2 部活動、緑風会活動について

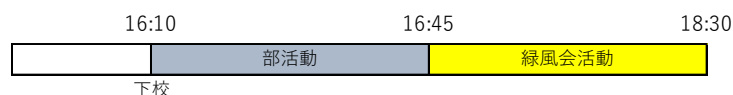
- (1) 校外の施設（高田松原球場、夢アリーナ、陸前高田市スポーツドーム、旧米崎中学校体育館等）での活動を認める。
- (2) 平日の活動時間は部活動と緑風会活動を合わせて2時間程度とする。（緑風会の最大活動時間は20：00までとする）

緑風会 平日の活動について

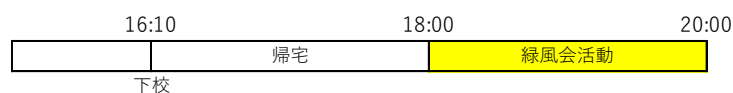
例1： A 5 時程 部活動ありの場合



例2： A 6 時程 部活動ありの場合



例3： 一度帰宅後、緑風会活動を行う場合



例4： 部活動なしで緑風会活動を行う場合



※下校時間から20：00の間で各育成会で時間を決めて
2時間程度で活動する

- (3) 土曜日、日曜日、祝日の活動は緑風会活動とし、活動時間は3時間程度とする。
- (4) 平日の16：45以降と、土曜日、日曜日、祝日の活動について、緑風会および指導者が対応できる場合、顧問は必ずしもつく必要はない。見守りは緑風会が担当する。
- (5) コーチの都合等で部活動なしの日に育成会練習を行う際は、顧問に相談し学校の許可を得る。

- (6) 校舎内での緑風会活動は原則なしとする。理由があつて校舎内を使用する際は顧問と相談し、学校の許可を得る。
- (7) 土曜日、日曜日、祝日の活動時間が基準を超える場合、次のように対応する。
- ① 大会等で土曜日、日曜日、祝日に連続して活動した場合、他の日に休養日を設ける。
 - ② 練習試合を行うときは以下の例を参考にし、実質の活動時間が3時間程度となるようにする。

例1

9:00

10:30

11:30

13:00

練習試合

休憩

練習試合

○

例2

9:00

10:30

12:00

13:30

練習試合

他校同士の試合

練習試合

○

例3

9:00

10:00

10:30

11:30

12:00

13:00

練習試合

休憩

練習試合

休憩

練習試合

○

例4

9:00

11:00

11:30

13:30

練習試合

休憩

練習試合

×(3時間超え)

3 休養日について

- (1) 平日の休養日は原則として月曜日とし、それ以外に各部で協議の上休養日を設けるよう努める。
- (2) 週末の休養日は原則日曜日とする。大会参加等（練習試合含む）及び練習場所の関係等で、日曜日に活動を行う場合は、土曜日を休養日とする。（原則、土日のいずれかは休養日とする。）
※ただし、大会参加等で土日連続して活動した場合は、原則として、他の休日に休養日を振り替える。
- (3) その他、学校が定める日※5参照
- (4) 県・市のガイドラインに則り、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう各部で協議の上、1年中育成会練習をするのではなく、時期をみて活動時間を調整するようにする。

4 長期休業中の活動について

- (1) 活動時間は2時間程度とする。
- (2) 土曜日、日曜日、祝日は、原則休養日とする。土曜日、日曜日、祝日に活動できるのは大会への参加、練習試合とし、その代替の休養日はその週の平日とする。
- (3) 長期休業中の活動日は、大会・練習試合等の予定を考慮し、部集会で決定する。

5 「学校が定める日」について

- (1) 定期テスト・実力テストの前5日間。
- (2) 年末年始閉庁日、お盆による閉庁日。
- (3) 職員会議、校内研究会のある日。

※生徒から希望の申し出があり、緑風会および指導者が指導できる場合は、緑風会活動は可。

- (4) 運動会や文化祭の1週間前から当日まで（文化祭前は、吹奏楽部のみ活動可）。
- (5) 気象警報の発表等により、生徒の安全確保が必要になったとき。
- (6) (1)～(5)以外にも、部活動および緑風会活動を休止する場合がある。

6 施錠、鍵の取り扱いについて

- (1) 緑風会活動後、施設の戸締まりは各育成会で責任を持って行う。
- (2) 16:45までには各育成会当番（各部2名割り当てる）が活動場所にいることとする。16:45までに当番1名以上が活動場所につけない場合は、当番が育成会長と連絡を取り調整する（緑風会活動を顧問に依頼する際は育成会長が顧問に依頼する）。
- (3) バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、吹奏楽部には体育館の鍵を、野球部、ソフトテニス部に武道場下のシャッターの鍵を貸し出す。紛失した場合は速やかに申し出る。新しい鍵は学校で準備するが、費用は育成会負担とする。
- (4) 体育館通路、並びに校舎は16:45に施錠する。16:45以降に緑風会活動を校舎内で行った際は顧問が施錠する。
- (5) 緑風会活動をする各育成会の当番は、当日16:45までに鍵貸し出し簿に必要事項を記入し、職員室から鍵を借りる。
- (6) 緑風会活動後は各育成会当番が戸締りを確認し、使用報告書に必要事項を記入してから鍵を職員玄関前のポストに返却する。
- (7) 休日に鍵を使用する際は、使用する育成会が前日16:45までに職員室から鍵を借りる。前日に活動がある場合は鍵貸し出し簿にその旨を記入し、職員玄関前ポストに入れずにそのまま休日活動終了まで借用することができる。使用後は平日と同様に施錠後、鍵をポストに返却する。
- (8) 平日、武道館下のシャッターの鍵については、野球部、ソフトテニス部のどちらかの生徒代表が部活動前に職員室から学校保管の鍵を借り、16:45までに職員室に返却するか、顧問の先生に返却する。

7 部活動指導員について

- (1) 令和6年10月から野球部、テニス部、バレー部に部活動指導員を配置。
- (2) 部活動指導員の職務について

陸前高田市部活動指導員設置要綱（令和3年12月21日 一部抜粋）に準ずる。

第4 指導員は、校長の監督を受けて、部活動に係る技術的な指導を行うため、次に掲げる職務に従事する。

- (1) 実技指導に関すること。
- (2) 安全・障がい予防に関する知識・技能の指導に関すること。
- (3) 学校外での活動(大会及び練習試合等)の引率に関すること。
- (4) その他、校長が部活動指導のために必要と認めること。

2 指導員は、前項に掲げる職務の遂行に当たって、校長、副校長及び当該部活動の担当教諭等(以下「教諭等」という。)と連携を図らなければならない。

3 指導員は、部活動においていじめや暴力行為等の事案が発生した場合は、速やかに教諭等に連絡し、教諭等とともに組織的に対応しなければならない。

4 指導員は、部活動中に事故が発生した場合は、応急手当、救急車の要請、医療機関への搬送、保護者への連絡等を行い、教諭等へ報告しなければならない。

5 校長は、指導員に部活動の顧問を命ずることができる。この場合において、校長は、当該部活動の担当教諭を指定し、年間・月間指導計画の作成、生徒指導、事故が発生した場合の対応等の職務に当たらせるものとする。

(服務)

第5 指導員は、生徒及び保護者の信頼を損なうような行為をしてはならない。

2 指導員は、その職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(勤務日及び勤務時間)

第6 指導員の勤務日及び勤務時間は、年間210時間以内で校長が定める。

(3) 部活動にかかわる学校教員の負担を少しでも軽減させるために部活動指導員が制度化されたことを踏まえ、部活動指導員が部活動や緑風会活動に参加する際、顧問は部活動や緑風会活動に参加しなくてもよいが、担当教諭等と日常的に指導内容や生徒の様子、事故が発生した場合の対応等について情報交換を行う等の連携を十分に図る。また、部活動指導員が不在の場合は16：45までは学校の管理下内とし、それ以降はこれまで通り緑風会活動とする。

(4) 緑風会活動については、これまで同様見守り当番を月ごとに計画し、緑風会で見守りを行う。ただし、確実に部活動指導員が参加する際は、見守り当番はいなくてもよい。調整に関しては各父母会長が主となって行う。その際、鍵の借用や返却、施錠は部活動指導員が責任をもって行う。

8 その他

(1) 育成会当番または顧問が緑風会活動の活動場所にいない場合は、緑風会活動はできない。

(2) 緑風会活動は生徒全員が必ず参加するものではない（家庭事情や体調を優先にする）。

(3) 緑風会活動での怪我、疾病については、各育成会で対応することを原則とする。

(4) 緑風会活動の際の欠席については各育成会に連絡する。

(5) 天候不順により、外の部が緑風会活動で体育館を使用することは認めるが、施錠は室内で活動している部に依頼する（室内を使用している部より早く終了すること）。

(6) 活動中に施設等の破損があった場合は、速やかに学校に申し出る。修繕費用については学校と協議し、原則育成会の負担とする。

(7) 各部・緑風会の運営にあたっては、活動計画に生徒の意見を反映させるなど、生徒の願いや目標を尊重する。

(8) この運用に記載されていない事項については、学校と協議して決定する。

(9) この運用は、必要に応じて役員会で検討し、学校と協議して改善を図る。